マイ・ブック[自著紹介]

Book Reviews

『栄養管理のチーム医療
—急性および慢性疾患に対するNST—』

出版社: 文光堂
定価: 3,500円[税別]
発刊日: 2006年4月24日

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
臨床栄養学分野
武田 英二
たけだ えいじ

栄養管理は医療の基盤であり個々のQOLを向上させる手段となることから、栄養管理を医療機関や地域で実施できる体制を整備することが必要です。徳島大学病院、大学院ヘルスバイオサイエンス研究部、医学部医学科、栄養学科、保健学科には栄養管理の多様な専門家がそろっており、連携によって積極的な栄養管理が行われています。そこで、患者のQOL改善、医療レベルの向上、社会資源の適正活用を支援するために、徳島大学が有する栄養管理に関する専門知識や技術について、中屋豊、高橋保子、大岡裕子、水口和生、日野出大輔の各先生とともに本書をまとめました。現在、活動しているNST*メンバーは、各部所を兼任しており、本務の中でこれを実施する事は困難で、対象とする患者数もきわめて限られています。チームとしてのNST活動の質の担保や実施状況の把握も困難であり、さらに工夫することが必要です。しかし、NST活動は院内各部所での栄養療法に対する意識の向上や技術取得のきっかけとなっています。疾患は急性期・亜急性期・慢性期が連続したもので、改善した栄養状態を如何に維持させるかが大きな課題です。さらに質の良い医療を提供するために、できるだけ多くの医療関係者に本書を活用していただきたいと願っています。

*NST…Nutrition Support Team（栄養サポートチーム）

『ビタミン研究のブレークスルー
—発見から最新の研究まで—』

日本ビタミン学会編
出版社: 学進出版
定価: 4,477円[税別]
発刊日: 2002年4月25日

『ビタミンEの臨床
—最近の知見と臨床応用への展望—』

出版社: 医薬ジャーナル社
定価: 3,400円[税別]
発刊日: 2005年10月10日

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
衛生薬学分野
福澤 健治
ふくざわ けんじ

微量栄養素として発見されたビタミンは、欠乏症の研究に始まり、その化学構造の決定、補酵素作用に関する生化学的研究やその分子メカニズムのプロテオミクス研究（水溶性のB群）、特異的な結合タンパク質や核内受容体アゴニストとしての作用の研究（脂溶性のA、D、E）、さらに最近のニュウトリゲノミクス研究など、その研究は様々な変遷を経て発展してきました。本書「ビタミン研究のブレークスルー」は、学会員がそれぞれ専門に研究しているビタミンについて執筆したもので、筆者はビタミンEを分担執筆しました。単なる研究内容の解説にとどまらず、ビタミン研究の歴史において飛躍的な発展の原動力となったいくつかの重要な知見がとりあげられており、そのブレークスルーとなった研究過程でのさまざまなドラマが紹介されています。生命科学研究を目指す特に若い研究者に読んでいただきたい一冊です。

ビタミンEは、生活習慣病やその要因の一つである酸化ストレスとの関連で近年注目されています。本書「ビタミンEの臨床」は、その臨床（末梢血管疾患、内分泌疾患、血液疾患、泌尿器疾患、腎臓疾患など）における最近の知見と応用への展望を解説したものです。筆者はこのビタミンEの臨床効果の理解を助けるために、その本質的な作用とされる抗酸化作用や、最近注目されている抗酸化以外の作用（遺伝子やタンパク発現の誘導、細胞内シグナル伝達の調節、特異的な結合タンパクを介した作用）などその基礎知識について解説しました。

とくtalkへのご意見

読者の言葉

■毎回色々な特集を組んで記事を集めてあり、堅くなく、手に取って読みやすいものだと思います。これからも楽しく読ませていただきます。
→多数の方に読んでいただける広報誌を目指して、今後も工夫を重ねていきたいと思います。

■広報誌としての位置づけをもう一度検討する必要があるかもしれない。
■教職員からすれば読みごたえに欠け、学生から見るとあまり身近に思えない。編集基本方針が多岐にわたっているのでやむを得ないのでしょうか?
→新しく制定された徳大広報の「編集基本方針」を16ページに記載しました。この方針に従い今後とも、より良い広報誌を作る努力を重ねていきます。